

《オープンキャンパスで展示されたロボット“親子”》

1. 雑感 (学習支援室の様子)

長いようで短い夏期休暇も終わり、後期が始まった。特別教育期間中には前期の成績発表があり、キャンパス内は学生達で活気を取り戻した。学習支援室を開けていると、「単位が取れた。」と成績表を持ってわざわざ報告に来てくれた学生が何人もいた。中には夏休み中にクラブの合宿や友達と旅行に行ったのでと、お土産を片手に訪れてくれた学生もいた。うれしい限りだ。授業開始早々は、学習支援室の利用者は例年少ないが、それでも毎日数十名を越える学生が利用しており、中には前期の成績で危機感を感じ、毎日利用する学生も出てきた。

最近3年次の学生とは就職のことで話をよくする。不景気からくる影響か、学生達も特に意識しているようだ。大学で実施されたものだと思うが、先日、公務員試験の模擬テストの問題を持って来た学生がいた。図形が関係する問題で、来たのは工学部3年次の学生であった。公務員試験は文系の学生も受ける訳で、特に高度な計算のテクニックを要するものでもなく、ちょっとしたひらめきがあれば、初歩的な方法で簡単に答えがでる。むしろ、高度な方法を知っているがために難しく考えてしまい、複雑な計算と向き合うことになって、落とし穴にはまっているようである。数をこなしてパターンをつかむのもよいが、柔軟な考え方ができればなんとか解けるものである。学生達が持ってくる問題の中にはすんなりとは解けない、手強いものもあるが、解けたときはうれしさもひとしお、よい脳トレになる。

2. 利用状況[8月1日～9月30日]

総利用者数 **279人** [2008年度 279人, 2007年度 167人]
27.9人/日 [学習相談 279人(10日)]

1) 利用統計

学年別利用者数 (全学部延べ人数)

年度	2009	2008	2007
1年生	42人	121人	115人
2年生	111人	113人	39人
3年生	126人	26人	12人
4年生	0人	19人	1人
その他	0人	0人	0人

[※その他 留年生・大学院生の利用]

科目別利用者数 (全学部延べ人数)

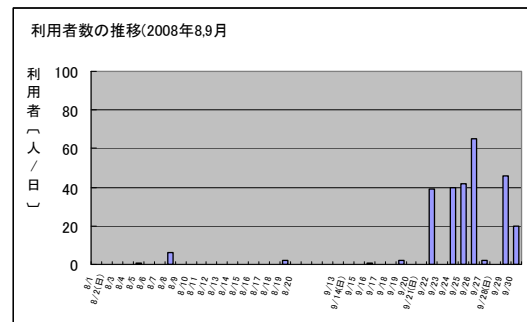
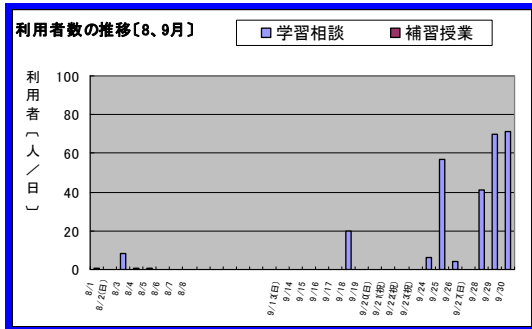
年度	2009	2008	2007
数 学	48人	123人	74人
物 理	8人	16人	20人
英 語	3人	7人	0人
情 報	0人	4人	4人
化学・生物	4人	129人	69人
専門・一般	21人		
自 習	185人		
その他	10人		

学科・学部別利用者数 (延べ人数)

年度		2009					合計	2008	2007
		1年次	2年次	3年次	4年次	5年以上			
工 学 部	C科	1人	1人	10人	0人	0人	12人	25人	17人
	A科	0人	50人	11人	0人	0人	61人	44人	32人
	E科	11人	25人	100人	0人	0人	136人	149人	90人
	M科	12人	11人	1人	0人	0人	24人	21人	10人
	B科	18人	24人	4人	0人	0人	46人	38人	18人
他 学 部	I部	0人	0人	0人	0人	0人	0人	2人	0人
	J部	0人	0人	0人	0人	0人			
	L部	0人	0人	0人	0人	0人			
	P部	0人	0人	0人	0人	0人			
大学院		0人							

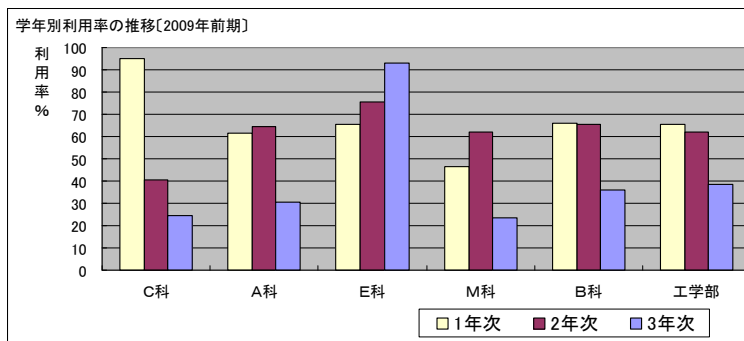
2) 利用者の推移

8,9月の利用者数の推移を表に示した。例年、後期の授業開始当初は1年間の中で最も利用の少ない時期となるが、今年度は特別教育期間中の利用に始まり、授業開始後は数十名を超える学生が利用した。利用者数を比較すると、昨年と同数の利用者があり、一昨年度に比べるとほぼ倍増している。昨年度とは授業実施回数が異なるため、平均すると今年度は1日あたり10名ほどの利用者増となっている。比較のため2009年度8,9月分を添付した。



3) 学年別利用率の推移

前期の学年別の利用率を集計した。C科1年とE科3年は90%を超えるほぼ全員に近い学生が少なくとも一回は学習支援室を利用したことになる。C科1年は基礎ゼミでの指導で、E科3年は実験レポートの作成を、支援室を利用して行ったことがその要因となっている。その他の学科・学年はほぼ6割の学生が利用しており、この数値は例年と同数にあたる。



3. 8, 9月のトピックス

[8月2日,23日(日)]

寝屋川キャンパスでオープンキャンパスが実施された。学習支援室(1)をパネル展示室、学習支援室(2)をSU-FreeSBIEの体験コーナーとし、メディアラウンジでは学習相談ブースを設けて、教育センターの紹介を行った。学習支援室(1)は、スタンプラリーのスタンプ設置場所に指定され、キャンパスツアーのコースにも設定されているため、保護者、受験生が多く訪れた。

[8月7日(金)~9日(日)]

平成21年度工学・工業教育研究講演会(名古屋大学で開催)に参加した。今年度は以下の2つのテーマで口答発表を行った。

【リメディアル教育・導入教育】工学部における補習教育による基礎科目から専門科目への接続 (西村)

E-Learning を併用した導入・補習授業の試み (田中)

(括弧は筆頭者・発表者)

[9月16日(水)]

後期開始。あわせて、特別教育期間(9月24日(木)まで)も始まる。次年度から開講される理工学基礎演習の実施にあたり、教育センターとの連携についての相談。特に大学生の数理能力を鍛える方策はないかとC科伊藤教授が来室された。さらに、後期もC科基礎ゼミ演習課題の採点を学習支援室で行うことの確認も行なった。

[9月25日(金)]

後期授業が開始される。

[9月29日(火)]

留学生別科赤松教授と阿部さんが341号教室使用の件でスタッフルームに来室。学部と別科の授業時間帯が異なるため、使用教室の確保が難しく、後期も前期と同様に別科の授業4限終了(15時10分)まで341号を使っていたようにした。同じ件では6月にも打ち合わせを行なっている。